

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間北海道の水辺の
観光情報サイトかわたび
ほっかいどう

令和3年8月31日

いくしゅんべつ

幾春別川総合開発事業の基本計画変更が告示されました

幾春別川総合開発事業（新桂沢ダム及び三笠ほんべつダムの建設）について、特定多目的ダム法に基づき、新桂沢ダム及び三笠ほんべつダムの建設に関する基本計画を変更し、本日、告示されました。

幾春別川総合開発事業（新桂沢ダムと三笠ほんべつダムの建設）は、石狩川流域の洪水調節及び流水の正常な機能の維持、水道、工業用水道、発電を目的としています。

早期に地域の治水安全度向上や水利用に貢献するための工期の管理に加え、徹底したコスト縮減に努めるとともに、事業に関する情報発信等を行いながら、新桂沢ダム及び三笠ほんべつダムの建設事業を進めて参ります。

(添付資料)

- 別紙 幾春別川総合開発事業に関する基本計画の変更について

(建設事業の主な経緯)

昭和60年 4月 実施計画調査着手
平成 2年 6月 建設事業着手
平成25年 1月 ダム検証における対応方針「継続」決定
平成27年 8月 新桂沢ダム本体工事着手
平成30年12月 基本計画変更（第3回）
令和 3年 7月 北海道開発局事業審議委員会
令和 3年 8月 基本計画変更（第4回）

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 幾春別川ダム建設事業所

副 長 渡邊 信明 (電話番号 01267-6-7101)

調査設計班長 西本 学 (電話番号 01267-6-7101)

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>

幾春別川総合開発事業に関する基本計画の変更について

1. 変更概要

①. 工期を令和5年度から令和12年度に7年間延伸

平成30年以降の北海道胆振東部地震等の自然現象による事象への対応等に加え、同形式のダム等の施工実績を踏まえ本体施工計画等の見直しを行い、工期を令和5年度から令和12年度に延伸が必要となりました。

②. 総事業費を約1,150億円から約1,667億円に変更

自然現象、現場条件の変更等に伴う精査、経済・社会状況の変化による物価上昇等の増額により、約517億円の増額が必要となりました。

③. 費用負担割合を変更

発電事業者より、近年の電力需要を踏まえた発電計画の見直し等の変更申請を受け、費用負担割合の見直しが必要となりました。

費用負担割合

河川	97.4%	→	97.7%
水道	0.1%	→	変更なし
工業用水道	1.2%	→	変更なし
発電	1.3%	→	1.0%

2. 新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムに関する基本計画の詳細については、札幌開発建設部幾春別川ダム建設事業所のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/ikushunbetu_damu/e1lg9o0000054as.html